

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公表番号】特表2006-522806(P2006-522806A)
 【公表日】平成18年10月5日(2006.10.5)
 【年通号数】公開・登録公報2006-039
 【出願番号】特願2006-509328(P2006-509328)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 48/00 (2006.01)
 A 6 1 K 31/7088 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 A 6 1 P 35/02 (2006.01)
 A 6 1 P 11/00 (2006.01)
 A 6 1 P 37/04 (2006.01)
 C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 48/00
 A 6 1 K 31/7088
 A 6 1 P 43/00 1 0 5
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 35/02
 A 6 1 P 11/00
 A 6 1 P 37/04
 C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成19年3月20日(2007.3.20)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

患者の形質転換細胞に細胞死或いはアポトーシスを誘導するための組成物であって、平均分子量1～50 kDaのdsRNAを含有する組成物。

【請求項2】
 dsRNAの平均分子量が20 kDa未満である、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】
 dsRNAの平均分子量が10 kDa未満である、請求項1に記載の組成物。

【請求項4】
 dsRNAがpA:pUである、請求項1に記載の組成物。

【請求項5】
 dsRNAが、増強したTNF- α サイトカイン産生を誘導する、請求項1に記載の組成物。

【請求項6】
 形質転換細胞に細胞死或いはアポトーシスを誘導するための組成物であって、オリゴヌクレオチドを含み、該オリゴヌクレオチドが、アデニン、ウラシル、シトシン、グアニン、及びイノシンからなる群から選択される少なくとも二塩基対から構成され、分子量が1

kDa ~ 50 kDaである、組成物。

【請求項 7】

オリゴヌクレオチドがssRNAである、請求項 6に記載の組成物。

【請求項 8】

オリゴヌクレオチドがdsRNAである、請求項 6に記載の組成物。

【請求項 9】

ssRNAがpAである、請求項 6に記載の組成物。

【請求項 10】

オリゴヌクレオチドがpA:pUである、請求項 8に記載の組成物。